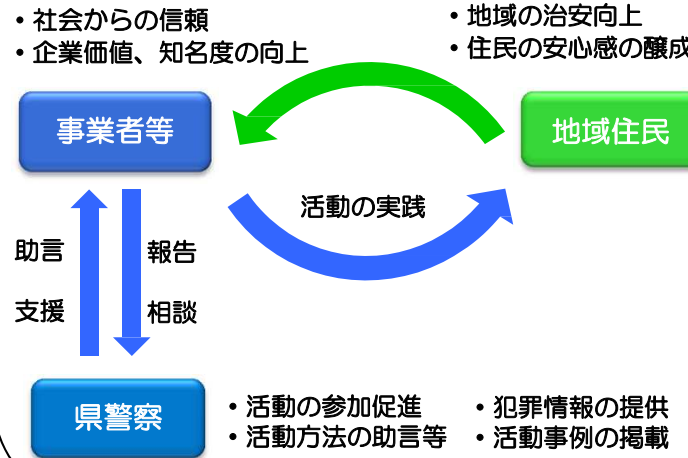


## 何を始めればいいのか



- 直接活動
  - ・通学路における児童の見守り活動
  - ・街頭防犯カメラの設置 など
- 情報発信活動
  - ・防犯等に関する広報啓発チラシの作成・配布
  - ・自社商品への防犯、交通安全標語の掲載 など
- 支援活動
  - ・防犯団体等への夜光チョッキ、停止灯の寄贈
  - ・防犯団体等に対する自社サービスの割引 など
- 安全・安心に配慮した環境づくり
  - ・従業員への教育・研修による自主防犯力の向上
  - ・会社周辺の落書き消し等の環境美化活動 など
- 警察への通報
  - ・インターネット上の違法・有害情報の通報 など
- 雇用活動
  - ・非行少年、刑務所出所者等の就労支援 など

## CSR活動の相関図 ～皆がWinWinの関係に～



## 県内の事例

### 《アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社》

同社は、越前警察署、越前市教育委員会と通学路における緊急点検を行い、越前市の神山自治会に防犯カメラ1台、街灯9基を寄贈しました。



### 《福井ミラクルエレファント》

同球団は、平成29年「特殊詐欺撲滅サポート宣言式」を行い福井県警察と連携した広報活動を実施しています。



### 《第一生命保険株式会社 福井支社》

同社は、サラリーマン川柳で全国的に知名度が高いことを活かし、平成29年から福井県警察と共催で「ふくい振り込め詐欺撲滅川柳」を開催しています



## 安全で安心して暮らせる社会の実現へ

## お金を出すのはちょっと…



《ながら見守り活動を推奨します》

H30.6.22に政府が決定した「登下校防犯プラン」では、多様な担い手による見守り活動の活性化として、企業が事業活動を行いながら、防犯の視点を持って見守りを行う「ながら見守り活動」の推進が掲げられています。

例えば、配達や営業等で県内を移動する従業員の「目」を防犯活動に活かし、不審者情報の提供や困っている子供・高齢者への手助けを行う活動、24時間営業している店舗を被害者等が逃げ込む場所として提供する活動等、**事業活動の延長で、地域住民の安全と安心に貢献することです。**

## 活動を始めるときに当たって



- ① 安全を第一に **活動は、従業員等の安全を最優先**  
犯罪に巻き込まれたり、交通事故を起こすことのないよう、無理のない範囲で、計画的に実施することが重要です。
- ② 活動を継続する  
活動の効果は、すぐに現れるものではありません。犯罪や事故が発生しないことが効果ともいえます。  
**継続した地道な活動により、事業者等の信頼やイメージの向上につながるとともに、地域社会における規範意識の向上が図られ、犯罪の起きにくい社会が形成されていきます。**

## 全国の実例

### 《北海道・TSUTAYA》

同社は、金融機関防犯協会が作成した特殊詐欺防止DVDの無償レンタルコーナーを設置しています。

### 《北海道・ダスキン》

同社は、特殊詐欺被害防止啓発デザインのフロアマットを製作し、金融機関や商業施設にレンタルしています。

### 《北海道・レオパレス21》

同社は、防犯カメラの設置等、女性や1人暮らしの方が安心して過ごせる部屋を提供しています。

### 《群馬・携帯電話販売店》

同店は、県内の小学校等において、児童、保護者、教職員を対象とした「スマホ・ケータイの安全教室」を開催しています。

### 《大阪・キッズプラザ大阪》

同施設は、警察が提供している犯罪情報メールの登録者に対し、施設の入場料割引クーポンを配付しています。

### 《栃木・イエローハット》

同社は、青色防犯パトロール車両を支援するため、車検費用や店内商品の割引サービスを実施しています。